



2024年8月30日

各 位

会社名 株式会社イーグランド  
代表者名 代表取締役社長 林田光司  
(コード番号：3294 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役 管理部門担当 白惣考史  
(TEL. 03-3518-9779)

### ポジティブ・インパクト・ファイナンス契約締結に関するお知らせ

当社は、オリックス銀行株式会社（本社：東京都港区、社長：錦織 雄一、以下「オリックス銀行」）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」（以下：PIF）に関する融資契約を締結しましたので、お知らせいたします。

PIF とは、企業活動が環境・社会・経済の 3 つにもたらすインパクトを包括的に分析・評価し、ポジティブな影響の増大およびネガティブな影響の低減を支援する融資手法です。金融機関が、融資先となる企業の事業活動を分析し、達成すべき業績評価指標（KPI）の設定と施策を支援するとともに、達成状況を継続的にモニタリングします。



本取り組みにあたっては、当社のサステナビリティ重要課題を中心に設定した KPI から、特に SDGs の目標に対してインパクトのある、安心・安全な住まいと暮らし、誰もがのびのびと働ける職場づくりにつながる 4 つの KPI と、目標達成に向けた具体的な施策が選定されました。目標の達成状況については、継続的にモニタリングが実施されます。なお、本 PIF およびオリックス銀行の PIF 実施体制について、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画金融イニシアティブのポジティブ・インパクト金融原則に適合している旨の第三者意見を取得しております。


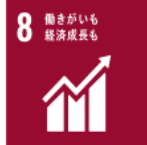
当社は、快適で安心して暮らせる住まいを提供し続けることを通して豊かな社会の実現に貢献するため、持続可能な社会の形成と持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

#### 1. 本契約の概要

- ①借入人：株式会社イーグランド
- ②融資金額：極度 10 億円
- ③資金使途：不動産購入資金
- ④モニタリング期間：5 年

2. 本 PIF のインパクト評価と設定 KPI

コア・インパクト	A) 既存住宅の活用による良質で安価な住宅の供給
インパクト領域	「住居」「資源効率・安全性」「廃棄物」
ポジティブ/ネガティブ	ポジティブ・インパクトの拡大
対応方針	中古住宅再生事業の促進により、資源の効率的な利用、廃棄物の抑制に貢献しながら良質で安価な住宅をお客さまに提供する。
KPI/目標	中古住宅再生事業の年間販売件数：1,000 件（2027 年 3 月期） （以降の目標は改めて設定）
KPI の過去実績値	2024 年 3 月期実績：868 件 2023 年 3 月期実績：865 件 2022 年 3 月期実績：925 件
関連する SDGs	 

コア・インパクト	B) 多様な人材の活躍推進と健康経営の強化
インパクト領域	「雇用」
ポジティブ/ネガティブ	ポジティブ・インパクトの拡大/ネガティブ・インパクトの低減
対応方針	多様な人材が生き生きと働ける機会・環境の提供を行う。 婦人科がん検診への費用補助など健康経営に向けた取り組みを引き続き行うことで従業員の健康を確保する。
KPI/目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性社員の育休取得率：85%（2029 年 3 月期）</li> <li>・女性正社員数：毎年 5%以上増加（2026 年 3 月期）（以降の目標は改めて設定）</li> <li>・「経済産業省認定 健康経営優良法人」を継続する（毎年）</li> </ul>
KPI の過去実績値	<b>【男性社員の育休取得率】</b> 2024 年 3 月期実績：60% 2023 年 3 月期実績：66.7% <b>【女性正社員数】</b> 2024 年 3 月期実績：33 名
関連する SDGs	 

以 上